

変更理由書

(発注担当課：下水道施設課)

- 1 工 事 名 : 4-2 試掘工事
- 2 工事場所 : 上尾市壺丁目南地内外
- 3 工 種 : 土木一式工事
(建設業法上の29分類)
- 4 変更契約内容

	変 更 前	変 更 後
工 期	令和 4 年 1 2 月 2 日から 令和 5 年 3 月 1 7 日まで	令和 一年 一月 一日から 令和 一年 一月 一日まで
契 約 金 額 (税 込)	3, 3 4 4, 0 0 0 円	3, 5 6 8, 4 0 0 円
工 事 概 要	As殻運搬処理 2.2m ³ 土留めなし 36.7m アルミ矢板土留2.0m 1.5m アルミ矢板土留2.5m 4.0m 交通誘導警備員B 10人	As殻運搬処理 2.5m ³ 土留めなし 36.2m アルミ矢板土留2.0m 3.5m アルミ矢板土留2.5m 3.5m 交通誘導警備員B 17人

5 変更理由

本工事において、下記の事由により数量の増減が生じるため変更する。

① No.I-6 における契約締結後の東京ガスとの現地立ち合いの結果、ガス占用位置が当初想定していた位置と異なっていたため、ガス埋設ルート（切り回し位置）を確認するため、試掘箇所数を増工する。（試掘箇所数 +1 箇所）

② No.I-12 区間で現在進めている管渠実施設計業務において、本工事契約締結後に排水ルートを変更したことから、当該箇所に污水管を埋設しないこととなったため、試掘箇所数を減工とする。（試掘箇所数 -1 箇所）

③ No.K-7、K-10 における試掘調査の際に、現況舗装厚が想定より厚かったため、殻処分量を増量する。（殻処分量 +0.3m³）

④ No.I-14 における東京電力の現地位置出しの結果、当初計画していた位置に污水管が埋設できないことから、占用位置を変更する。それに伴い、確認対象物を変更し掘削深さが土留めの不要となる 1.5m未満となるため、土留工の数量を減長する。（土留なし -1.0m）

⑤ No.I-6 における試掘調査の際に、確認対象物（ガス管）が想定より深く、掘削深さが土留めの必要となる 1.5mを超えるため、土留工の数量を増加する。（アルミ矢板土留 2.5m +2.0m）

⑥ No.K-12 における試掘調査の際に、確認対象物（水道管）が想定より深く、掘削深さが土留めの必要となる 1.5mを超えるため、土留工の数量を増加する。（アルミ矢板土留 2.0m +2.0m）

⑦ 契約締結後の現地調査の結果、No.KI～K5区間の施工にあたり迂回路が確保できないこと、また、No.I-13、I-14区間の施工にあたり県道を一部規制する必要があることから、一般車両等の円滑な誘導を行うため、交通誘導員の人数を増加する。（交通誘導警備員 B : 5 人増）

以上の結果、増額変更をする。